

令和6年度第1回太子町子ども・子育て会議 会議録

1. 開催日時 令和6年7月16日(火) 14時00分～16時00分
2. 開催場所 太子町役場 議会棟C101会議室(全員協議会室)
3. 審議事項 太子町子ども・子育て支援事業計画の令和5年度実績について
太子町子ども・子育て支援事業計画に関する住民アンケートの結果について
4. 出席委員 松浦委員 小谷委員 福井委員 川上委員 八木委員 井上委員
武田委員 植山委員 田中委員 難波委員 栗田委員 柳生委員
5. 欠席委員 なし
6. 事務局 教育委員会 福井教育次長
教育委員会こどもえがお課 肥塚課長 竹本副課長 佐々木係長
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 内藤 山森
7. 傍聴者 1名
8. 審議経過及び結果 以下のとおり

【審議経過】

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 議題

議題1 太子町子ども・子育て支援事業計画の令和5年度実績について

(事務局説明)

武田会長 ありがとうございます。ただいまの説明に対してご質問等ございますでしょうか。

田中委員 7ページ(13)放課後児童健全育成事業のところに「保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、授業終了後や長期休暇中、小学校の空き教室等を活用し、適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る事業です」とあります。小学校の空き教室等を活用というのは、太子町でなく国の方針でうたわれているわけです。

よね。国の方針に対し太子町がどのように取り組んでいるのかが見えづらいので、補足をお願いしたいと思います。また、小学校の空き教室と聞くと児童が帰ったあとの教室で、そこが使えるというイメージですが、実際のところそうでもないと言いました。空き教室とは全く使っていない教室を指しており、児童が帰ったあとの教室は空き教室という解釈ではないとのことで、それについて誰でもわかるように記載いただければと思います。量の見込みと実績が載っており数字的にはわかりますが、太子町の背景が書かれていなければ資料をいただいても読み解けません。今後は太子町における方針についても加筆いただければと思います。

事務局 国の学童についての指針として、小学校の空き教室等を活用するとよいという内容が示されています。太子町には4小学校ありまして、龍田小学校については1教室を占有で学童用に利用させていただいております。それ以外の小学校では、学童用の空き教室の確保が難しく、プレハブを設置したり、空き店舗や空き家をお借りするなどしております。このように、太子町では空き教室の確保が難しいというのが現状です。資料に対するご指摘に関してましては、今後の資料作りの参考にさせていただきます。ただ、補足を全て記載するわけにはいきませので、口頭での説明等で補足とする場合もありますので、ご了承ください。

田中委員 今のところ、小学校の教室活用も他の施設の利用も難しいという趣旨でよろしいですか。

事務局 石海学童については元JAの施設を活用させていただいています。斑鳩学童の場合は校庭内にプレハブを設置しても足りず、高学年については民間の空き家を利用させていただいております。また、過去には地域の公民館を学童用に使用してもらったこともありました。学童の拡充ということで学校周辺施設の活用も考えるのですが、条件に合う施設がなかなかないといった状況もございます。

武田会長 7ページに「小学校の空き教室等を活用し」とありますが、現状できていないということですよね。空き教室があればそこを活用すればよいというのが国の指針ですが、必ずそうしなければならないものではないと思います。先ほど事務局から学校周辺施設を活用しての学童という話もありましたが移動の問題も出てくるでしょうし、石海小学校が利用している元JAの施設も老朽化が進んでいます。そういった種々の問題に対して教育委員会でも検討を進める必要があるかと思います。

川上委員 子育て支援ということで、当園でも今年度から3歳児保育を開始しました。2時から6時までの預かり保育に加えて朝8時からの預かり保育も実施し、保育料も1時間200円から100円に値下げしました。この預かり保育が非常に盛況で毎日30人以上の子どもたちを預かっているのですが、専用の部屋がないため他の場所を活用しています。預かり保育の子どもの中には支援の必要な子もいて担当の先生だけでは手が回らないため、複数の先生でみています。こういった中、ハード面とソフト面がうまくリンクできていないという現状があります。共働きの保護者のニーズに応えたいのは山々ですが、これ以上預かり保育の受入れ人数を増やせば施設の安全性を含め対応が難しくなりますし、職員の仕事にも支障が出ます。本来であれば子どもの降園後にできる職員会議や翌日の準備がままにならなくなるという現状についても知っていただければと思います。

事務局 抜本的な増築等、行政としてなかなか対応しきれていないところがあり申し訳なく感じております。教育委員会でも知恵を出し合い、解決策を模索していければと思います。先生方のお知恵も拝借し、人員の配置等について詳しく伺ってまいりたいと考えているところです。

難波委員 川上委員がおっしゃったことに対して、保護者の立場からお話したいと思います。今年度から預かりの保育料が1時間100円になり、さらには朝の預かり保育を実施していただき、非常に有り難く感じています。私自身、上の子を幼稚園に預けて下の子は家庭保育をしているのですが、預かりの保育料が下がったことで利用しやすくなり、その分下の子との時間を確保できるようになりました。預かり保育を利用する保護者が増えてるのは私も感じており、先生方の負担も大きいと思います。使える部屋はどんどん預かり保育用になっているので、PTA役員が使う部屋にも困っている状況です。預かり保育の園児数と教室数が見合っていないとも思います。

事務局 少子化が進んでいる現状において、幼稚園の拡充というのは難しい面もあります。去年、教育委員会の管理課が幼稚園のあり方についての検討会を開き、その中で園区をなくして幼稚園を統合するという方向性が示されていたので、いずれはその方向になっていくかと思います。

武田会長 こどもえがお課になったことにより、幼稚園の管理についても状況を把握しやすくなってきたかと思います。

事務局 幼稚園を学校から切り離して保育所や認定こども園と同様こどもえがお課の所管にしたことにより、就学前施設全体の方針等を考えやすくなったと思います。

福井委員 巡回事業の1つとして学童保育を回らせていただいたのですが、まずは支援員確保の困難さを感じました。それと、各学童で部屋の広さや物品等に差があり、配慮が必要な子どもにとっての環境が整備されていない所もあるように思いました。学童も校区によって予算等に差があるのでしょうか。

事務局 予算はどの学童も同じで、使い道については、ある程度は各学童の裁量にお任せしています。

武田会長 福井委員は巡回支援専門員として活動されていますが、学童保育等の運営面で気になったことについてもう少し伺えればと思います。

福井委員 運営面というより、気になる子どもがいるかなどの状況を見に行っております。巡回した各施設の報告書を作成していますので、支援員の皆様には見ていただいていると思います。

事務局 私たちも報告書をいただいております、その報告書に基づき支援員に助言等を行っています。

武田会長 その助言に基づいた取り組みをしていただければと思います。

田中委員 先ほど園区をなくしていくという太子町の将来的展望を伺いましたが、現時点での保護者の困りごとの解決も大事だと思います。その視点を持ちながら園区解消の検討を進めていただければと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局 園区をなくすことを前提としているわけではなく、少子化が進んだ結果としてそうなる可能性があるという意味で申し上げました。現状としては、先ほど川上委員がおっしゃ

ったように今年度から預かり保育が拡充され、より使いやすくなったと思います。他には両親とも月 64 時間以上働いている場合は日額 450 円まで無償化の対象ですので、長期休業中以外はほぼ無償になります。こういうことも含めて少しずつ改善してまいりますし、保護者のレスパイト目的での利用もしやすくなるようにしていければと思います。

武田会長 次期計画はこの会議の発言も踏まえものになっていくと思います。委員の皆様におかれましては、抜け落ちているニーズ等があればぜひご発言いただければと思います。よろしいでしょうか。それでは、議題 1 については、ご意見も出尽くしたようですので、議題 2 に移りたいと思います。事務局は説明をお願いします。

議題 2 太子町子ども・子育て支援事業計画に関する住民アンケートの結果について

(事務局説明)

武田会長 ありがとうございます。ただいまの説明に対してご質問等ございますでしょうか。

難波委員 前回の調査はいつ頃行いましたか。

事務局 令和元年度に実施いたしました。

福井委員 4 ページの③仕事と子育てを両立するうえでの困りごとに「その他」という項目もありますが、自由回答としてなんらかの記載があった場合、それを教えていただくことは可能でしょうか。

事務局 その部分について今すぐお示しすることは難しいので、次回の会議において参考資料のような形で提示させていただいてもよろしいですか。

福井委員 はい。

武田会長 自由回答についてですが、今の 4 ページ③だけではなく、すべての設問でお示しいただければと思います。

事務局 自由回答をすべてお示しすると膨大な量になりますので、ある程度コンパクトにした形で提示したいと思います。

田中委員 一見してすぐわかるような資料のまとめ方をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。アンケート結果からみえてきた問題点や改善点を報告するような内容にした方がよいのではないかと思います。

事務局 議題2としてアンケート結果のご報告ということが主でしたので、今回は結果の羅列とさせていただいたところがございます。今後の骨子案作成にあたっては、課題の取りまとめなどもお示しできればと考えております。

事務局 今回は、昨年度行ったアンケート調査についての結果報告のみにとどめております。

武田会長 結果が出たため、取り急ぎ報告があったという理解でよろしいですね。田中委員が言われた問題点や改善点については、次回以降の話になるかと思います。

難波委員 先ほど太田幼稚園の預かり保育の件数が増えているというお話がありましたが、斑鳩や石海の実情はどうですか。

事務局 斑鳩についても利用者が増加し、昨年度と比べると約2倍になっております。太田は昨年度と比べて約3倍、石海は約1.5倍と、3園とも増加傾向にあります。

難波委員 園によって園児数が違うので、利用割合を教えてくださいと思います。

事務局 斑鳩幼稚園では43名中34名の利用があり、時間数にしますと750時間になります。昨年度は19名の333時間ですので約2倍ということです。太田幼稚園は114名中66名の利用で保育料の値下げもあったため、時間としては1,618時間になりました。昨年度は45名の641時間ですので約3倍ということです。石海幼稚園では54名中37名の利用があり、時間としては678時間になります。昨年度は26名の463時間ですので約1.5倍と

いうことです。

難波委員　今のデータを聞いてもアンケート結果を見ても、今後フルタイムで働きたいという母親の声が高まっていると感じます。少子化が進むことはわかっていますが、預かり保育の利用割合の増加を勘案しながら体制の充実を検討いただければと思います。

事務局　今年度から預かり保育を拡充したことにより、利用が増加するのは把握しております。来年度の当初予算要求時にも、利用者や利用割合の増加のため充実が必要な旨を訴えていきたいと思っています。

小谷委員　幼稚園でも預かり保育のニーズが上がり、フルタイムで働いている方は認定こども園に子どもを入れたいという傾向があるように実感しています。実際、当園でも1号認定の希望が減り、2号認定、3号認定の希望者が増えている状況です。当園としても預かり保育を充実したいのですが、人手不足による難しさもあります。よその市町村の保育士支援事例を参考に、保育士として働きたくなる環境や待遇の整備等も検討いただければと思います。待遇でいけば神戸市や明石市が魅力的で、そちらに流れていくというのは否めないところがあります。

植山委員　本学でも幼稚園教諭や保育士を希望する学生が少なくなっており、一番減っているのが幼稚園教諭です。そして、先ほど言われていたとおり待遇がよりよいまちに人材が流れてしまうのも事実だと思います。この間、関西の地価の上昇率に関する報道を目にしたのですが、6位に太子町が入っていました。つまり、太子町土地を買う人も多いということですよね。アンケートでは若い世代や子育て世代の転入を増やすための施策が充実していないという回答が多かったのですが、そういう世代にターゲットを絞ってサービスの充実等を図っていけば転入が増えるのではないかと思います。話は変わりますが、岡山県の総社市では歩いて商品券をもらおうという事業が実施されており、その結果、市の医療費が3億円も減少したと聞きました。太子町でもそういう取り組みをされてはいかがでしょうか。先ほど若い世代をターゲットにした施策の話をしていましたが、そういう世代を呼び込むため、太子町の交通アクセスの利便性の高さも含めて住みたくするような魅力的な内容等を打ち出していくというのはどうでしょうか。太子町のカラーについても考えていくような会議の場にしていただければと思います。

武田会長　計画を町長に答申する際、人材確保についての意見書を毎回付けていますが、先ほどの

お話のように幼児教育分野の大学への進学希望者も減っているという状況があります。各自治体でいろいろな施策を実施し、保育士、幼稚園教諭、そして小学校の教員の確保に奔走している状況です。例えば姫路市は財政規模が大きいため単独で人材確保の事業展開ができますが、太子町ではそうすることが難しい面があります。西播磨県民局等、広域で連携しながら取り組んでいくような検討を行うのもよいかと思います。

事務局 市町村の事業ですので、どうしても町単独になってしまいます。予算計上の際、毎年度施策についての要望を挙げており、国庫補助事業の申請も行っていますが、なかなか通らないという現状があります。また、お金をかけずにできることも考えてはいるのですが、やはり今のご時世ではお金をかけないとできないものがほとんどになります。ただ、今回の機構改革により、こどもえがお課として当初予算を計上するのは初めてになりますので、これまでとは変わるかと思っております。

武田会長 財政的な余裕がある中核市等と張り合えというのは酷な話だとは思いますが。例えば太子町で就職してくれれば特典を付与するなどポイントを絞って予算を使う、もしくは県民局単位で連携して保育士の就職支援事業を行うといった工夫が必要になってきます。そうしなければ、これからは都市部に人材を吸い上げられるばかりです。太子町に保育等の人材確保に関する検討機関や委員会はありますか。

事務局 ございませ。こどもえがお課単独で人材確保も含め何から何まで考えるのは難しいという状況です。

田中委員 人材を募集するにあたっては、例えば教諭等の有資格者でないといけない、フルタイムで入れる人に限定するなど、条件が厳しいのかと思ったところがあります。資格等条件の緩和やパートタイムでの採用はできないのでしょうか。

事務局 事業により様々で、有資格者に限定することもあります。短時間のパートであれば資格は要りません。雇用の仕方も正職員、会計年度任用職員等、様々です。例えば学童保育における雇用にしても支援員は保育士や小学校教諭の有資格者限定ですが、補助員であれば資格は要りません。園や学校で担任を持つような人は有資格者で、かつ、ある程度の時間働いていただきたいという希望があり、その条件をすぐに緩和することは難しいかと思います。学童保育の支援員も同様で、クラスに対して管理者として責任を持ってもらいたいので、要資格としています。

事務局 学童保育の補助員についてはアルバイト・パートも可能としており、所定の労働時間より少ない場合でも条件が合えば採用するということで、柔軟に考えるようになってきています。職員募集の広告にしても、町広報やホームページのほか、目に付きやすい有料広告やSNSを活用したり、職員の知り合いなどを通じた声かけなど、様々な方法を試みています。

田中委員 学童保育中にケガをすることもあると思います。そういう事態に備えて保険があると思うのですが、その保険料は職員自身が払うのでしょうか。

事務局 労災等の保険料を労働者が払うことはありません。

田中委員 ボランティアの活用はどうでしょうか。以前、町広報かなにかでボランティア募集の記事をみた気がします。

事務局 学童や保育所ではボランティアの募集はしておりません。社会教育課で「あそびっこ教室」のボランティアを募集していますので、そのことでしょうか。

武田会長 議題とそれた話になってきているので、さらなるご質問等あれば個別にお願いします。他に何かございますか。

井上委員 9ページの⑥保育園等の保育サービスが充実しているという項目に対して、「そう思う」「まあまあそう思う」と回答した割合が合わせて33.7%と、結構低く感じました。希望する認可園に入れなかった、学区が違うなど、いろいろ理由はあるのだらうと思います。やはり全員が希望する認可園に入れることが満足度アップにつながるのではないのでしょうか。ただ、新しい園を建てるのは現実的ではないと思います。今回の調査で認可園を希望する保護者が圧倒的に多いという結果が出ていますが、当園は現在無認可です。当園のような認可外を認可にし、認可園に関してもより手厚くサポートしていけば保育の質が高まるのではないかと思います。当園でも、より質の高い保育を提供するための小規模保育事業を認可していただけるよう、町と協議を進めています。町と保育園・幼稚園が連携して保育の質をより高めていけば保護者が安心して子育てできる環境を整備することになり、それによって保護者の満足度がさらに上がるのではないかと思います。

いました。無認可保育の認可化についても、ぜひ計画に入れていただければと存じます。

事務局 町が認可できる家庭的保育事業の中に小規模保育事業があります。井上委員からは、そちらの認可化についてご相談いただいております。今後、骨子案や保育の量の見込み等が出てきた段階で、もっと具体的に話を進めていければと思います。

武田会長 そういった施設からのニーズがあれば計画に反映していくことも共通認識として必要かと思います。

福井委員 9ページの⑧障がいなどの配慮の必要な子どもへの支援が充実しているという項目についてですが、「どちらともいえない」と回答した割合が59.3%と飛び抜けて多くなっています。障害のある子どもを育てている家庭が孤立しているから支援が充実しているかどうか分からないのではないかと、少し気になりました。先ほど働き手の確保のお話も出ていましたが、働いていないと孤立感があります。子育て世帯や転入者が孤立しないような取り組みが必要ではないでしょうか。また、新しく働き手を確保するのも重要ですが、長く働けるような施策も必要かと思います。保育の仕事をしている人が太子町で自分の子を育てたいと思ってくればという願いもあります。保育士さんに話を聞いたところ出会いがないとも言っていましたので、そういったところも何か形にできればと思います。

事務局 今後の施策検討の参考にしたいと思います。

柳生委員 父親の育児参加が増えてきていると思います。私の親世代は全部母任せだったのでよいことかと思いますが、立場上気になるのは児童虐待の話です。太子町で児童虐待に関する相談や重大事例、それへの対応等はありませんか。

事務局 今年度は非常に多く、毎日何かしらの相談や通報が来ています。こどもえがお課の中の子育て応援係が太子町のこども家庭センターを立ち上げており、そこが支援を行う窓口となっています。町では児童養護施設での保護等はできず、あくまで相談の受付、ショートステイ等福祉サービスの利用案内、ヘルパー派遣ぐらいにとどまることになりますが、専門機関との連携は行っておりますので、虐待が疑われるような事例があれば町に

ご連絡いただければと思います。

武田会長 以上で本日の議題は終了しました。たくさんのご意見、ありがとうございました。有意義な会になったかと思います。それでは、これ以降の進行については事務局にお任せします。

4. その他

(事務連絡)

5. 閉会

この議事録が真正であることをここに署名する。

令和6年 8 月 21 日

署名委員 八木 三佐代

署名委員 川上 智美